北海道高等学校定時制・通信制パワーアップ事業報告書［令和６年度（2024年度）］

学校名	北海道苫小牧工業高等学校　（(定)・通）	校長名	小　山　彰　博
所在地	苫小牧市字高丘６番地22		

（令和６年（2024年）５月１日現在）

学　　年		１年	２年	３年	４年	合　計	教　員　数（校長・教頭を除く）	
生徒数	男	19	5	4	10	38		
	女	4	3	2	1	10	教　諭	12
	計	23	8	6	11	48	養護教諭	1
学　級　数		1	1	1	1	4	合　計	13

協力校	北海道　　高等学校　（全・定・通）	校長名	
協力校	北海道　　高等学校　（全・定・通）	校長名	

実践研究の実施概要	〔実践研究課題〕	〔実践研究の実施内容〕
	ア　特別な教育的支援を必要とする生徒への指導の充実 ・特別な教育的支援を必要とする生徒への支援体制の構築 ・その他、特別な教育的支援を必要とする生徒への指導の充実に資する取組	・とまこまい若者サポートステーションと連携した教育活動の工夫・改善に取り組む。 ・その他、特別支援学校等の外部機関と連携した教育活動の工夫・改善に取り組む。 ・生徒一人一人のコミュニケーション能力の向上に向けた指導の工夫と改善に取り組む。

成　果	・若者サポートステーションや、とまこまい子ども若者なんでも相談案内「KOWAKA」と連携することにより、本校の状況等を広く外部に周知できた、また、コミュニケーション能力の向上に向けた指導について共通理解を図ることができた。 ・中小企業家同友会との連携により、本校の系統的なキャリア教育を実施していくための土台づくりができた。 ・特別支援教育に関する校内研修と近隣の高等養護学校２校と高等支援学校１校への学校視察を実施し、教員の特別支援に関わる知識の向上を図るとともに校内支援体制づくりを積極的に進めていくための共通理解を図ることができた。
実施上の課題	・卒業後の生活を見据えて、生徒の適性に応じたキャリア教育を実施したり、企業とのマッチングや在学中のアルバイト支援を実施したりするための校内体制を整備する必要がある。 ・より一層、生徒のコミュニケーション能力の向上を目指した日常の取組を充実させる必要がある。
事業実施による成果の普及状況	・定時制通信制パワーアップ事業研究協議会において、今年度の取組の成果を発表した。 ・苫工定通信の内容充実を図り、成果を普及する。
その他特に記載すべき事　項	